

4. 養殖漁業振興事業費

1) 魚類防疫対策事業

津村祐司・里井晋一

【背景・ねらい】淡水養殖業における魚病被害の軽減と予防を図り、養殖経営の安定化と安全な食品生産に寄与する。

【成果の内容・特徴】魚類防疫会議－魚類防疫対策の効率的な運用を図るため、水産庁、水試で協議を行う。

全国魚類防疫推進会議（9月28日、3月4日）

滋賀県魚類防疫会議（5月14日）

魚病講習会－養殖業者、漁業協同組合、県職員等を対象に、防疫技術の普及を図る。

開催日時：平成5年10月20日

開催場所：滋賀県水産試験場2階会議室

講演題目：「湖産アユの諸問題について」

講師：滋賀県水産試験場職員

アユ及びニジマスのピプリオ病に係る防疫協議会－水産用ワクチンの適正使用を図るため、指導機関、水産課、畜産課との間で協議を行う。

開催日時：平成5年5月19日

開催場所：滋賀県水産試験場2階会議室

ワクチン使用状況：アユ－2件、ニジマス－0件

魚病診断－魚病発生時に病因の解明、薬剤感受性等魚病診断を実施し、対策を協議する。

総診断件数：74件（4～12月）

水産用医薬品適正使用指導－魚病診断結果を踏まえ、水産用医薬品の適正使用を指導する。

水産用医薬品残留調査－アユ、ニジマスを対象に出荷時に水産用医薬品が残留していないかどうか調査する。

アユ（オキシリン酸）40検体＝8業者 残留なし

ニジマス（オキシリン酸）20検体＝5業者 残留なし

【成果の活用面・留意点】魚病発生時に病因の解明、薬剤感受性等魚病診断を実施し、その結果を速やかに伝達することにより魚病被害の軽減を図っている。

滋賀県魚病指導総合センターにおける平成5年度魚病診断状況

(診断件数)

項目		月												合計		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
ア	ビブリオ病			1	6		1	1								9
	冷水病	5	4	4	1			1		3	3	4	1			26
	細菌性鰓病									2	1		1			4
	シュードモナス症	3	1	2		1	3					5	4	1		20
	エロモナス症													1		1
	カラムナリス病				1											1
	ギロダクチルス症	4	3	3	4	1	3					3	3	3		27
	その他の外部寄生虫症															0
	内部寄生虫症*1	1														1
	ユ	口グサレ病	1					1						1		3
	水カビ病			2	1		1				1	2			7	
	グルゲア症						1								1	
	合併症*2	1					1					1			3	
	不明	1			2						1				4	
	小計	16	8	12	15	2	11	2		5	14	15	7		107	
コイ・フナ類	外部寄生虫症			1					1							2
	ねむり病															
	不明							1								1
	小計			1				1	1							3
マス類	せっそう病	1														1
	細菌性鰓病	1	1	1			1									4
	外部寄生虫症									1						1
	水カビ病										1					1
	イクチオフォヌス症								1							1
	IHN			1												1
	不明															
	小計	2	2	1			1	1	1	1						9
合計		18	10	14	15	2	13	4	1	6	14	15	7		119	

備考 *1杯頭条虫症

*2口グサレ病+ギロダクチルス症